

令和8年度富山・バーゼル交流促進事業 「富山・バーゼル訪問交流プログラム」への 派遣学生の募集について

富山県では、今後の県内薬業界をリードするようなグローバル人材の育成を目的として、バーゼル大学への短期派遣を実施します。皆様のご応募をお待ちしております！

◆ 応募対象者

富山大学・富山県立大学に在席し、医薬品又は医薬品関連分野で研究をしている学部学生（3年生以上）・大学院生（2名）

◆ 派遣内容

派遣者自らが希望するプログラムコンテンツを組み合わせ、プログラムに参加



【プログラムコンテンツ例】

- ・ バーゼル大学の講義受講・実習参加・研究室訪問
- ・ スイス連邦工科大学チューリッヒ校訪問
- ・ スイス・バーゼル地域の製薬関連企業訪問
- ・ バーゼル薬学歴史博物館見学 等

◆ 派遣期間

令和8年10月31日（土）～11月16日（月）（予定）（移動日を含む。）

◆ 応募方法等

(1) 応募方法 以下URL又は二次元コードからご確認ください。

<https://www.pref.toyama.jp/1212/basel/kouryuujigyou2026.html>



(2) 受付期間 4月1日（水）から30日（木）まで

◆ 派遣者の決定

検討委員会にて、面接を実施し、委員の意見に基づき、県が派遣者を決定

【主な評価項目】

- ・ 国際社会での活躍を目指し、自己研鑽し、チャレンジする意志を有しているか。
- ・ 将来、県内薬業界に対して貢献する意思を有しているか。

◆ 県からの助成

補助対象経費	対象経費上限	補助額上限(補助率)
渡航費（航空運賃、国内旅費、海外旅行保険、パスポート申請手数料等）、滞在費（宿泊代、交通費、Wi-Fi通信料等）	100万円 （概算）	上限66.6万円 （2/3）

※食費等の生活費は補助対象とならない。

県からの助成に加え、薬業界の支援があります！
（詳細は次頁参照）

◆ その他

派遣学生には、修了証を発行します。

スイス・バーゼル大学は、1460年創立（スイス最古）で医学・薬学・理学など7学部あり、ノーベル賞受賞者を少なくとも5名輩出しています。なお、バーゼル地域には、世界有数の製薬企業（ロシュ、ノバルティスなど）、医薬品や化学、バイオ関連企業、研究所が集積しています。

派遣学生への薬業界からの支援

最近の円安や物価高騰の影響を踏まえ、富山県からの助成に加え、県内薬業界からも以下のとおり支援を受けられることになりました。



● 支援対象者

令和8年度富山・バーゼル交流促進事業「富山・バーゼル訪問交流プログラム」に参加する派遣学生

● 支援内容

派遣学生1名につき、**10万円**（令和7年度実績）

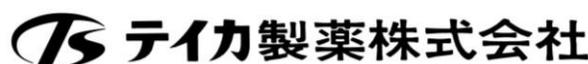
● 支援企業（五十音順）



救急薬品工業株式会社
KYUKYU PHARMACEUTICAL CO., LTD.



立山化成株式会社



東亜薬品株式会社



富士化学工業株式会社
Fuji Chemical Industries Co., Ltd.



FUJIFILM

富士フイルム 富山化学株式会社



創造と信頼

陽進堂ホールディングス



2025スイス・バーゼル大学等派遣学生の声

高桑 美帆 さん

(富山大学大学院総合医薬学研究科臨床薬学プログラム博士課程1年)



本派遣を通じて、歴史的背景や国際連携のあり方の違いから学びを得て、その成果を富山における薬学研究や地域医療産業の発展に還元したいと考えました。また、薬剤師免許を有する研究者としてさらに研鑽を積むため、自らの専門性や研究者としての姿勢を見つめ直すとともに、得られた知見を富山の教育・研究の場へと反映したいと考え参加を決意しました。

現地では、バーゼル大学の研究室訪問、研究所訪問、薬学部の実習参加、企業訪問、博物館見学に加え、学生交流としてハーベストメッセへの参加やチューリッヒ観光など、多角的な経験を重ねることができました。先進的な研究環境に触れ、多くの学生・研究者らと交流できたことで視座が高まり、自らの課題を明確にすることもできました。

派遣にあたっては、県の補助金(33.4万円)、県内薬業界(10万円)から支援を受け、経済的な不安はありませんでした。この他、富山大学SPRING事業からも支援を受けられる見込みで、自己負担は最大10万円程度となる予定です。

行動することでしか見えない景色があると思います。迷いのある方こそ、ぜひ一歩踏み出してみてください。



平山 琴珠 さん

(富山県立大学大学院工学研究科生物・医薬品工学専攻博士前期課程1年)



本プログラムには、自ら選択し行動する環境に身を置くことで主体性や行動力、コミュニケーション力といった将来必要となる力を養うこと、また医薬品工学分野における世界最先端の研究環境に触れ、具体的な研究目標と将来像を明確にしたいという思いから参加しました。

現地ではバーゼル大学の研究室訪問や実習参加、製薬企業訪問、学生との交流、文化体験を通じて、研究のみならず海外研究者の働き方や生活にも触れることができました。また、異文化環境で主体的に行動する経験は、創造性や積極性の向上につながり、今後のキャリアを考える大きな契機となりました。

派遣費用については、富山県からの補助金36.8万円、県内薬業界からの支援10万円、富山県立大学の同窓会および後援会からの支援8万円を受け、自己負担は約8万円に抑えることが出来ました。

海外経験に不安がある方でも、挑戦する価値のあるプログラムです。

思い切って一歩踏み出してみることをおすすめします。

